

KIZURI中小田井ポレポレ



<input type="checkbox"/> 認定番号	第89号	<input type="checkbox"/> 認定年月日	令和4年10月25日
<input type="checkbox"/> 所在地	西区中小田井一丁目367番地		
<input type="checkbox"/> 建築年	明治29年		
<input type="checkbox"/> 構造・階数	木造	地上 2 階、地下	階建て
<input type="checkbox"/> 概要	<p>1階の土間は熟し（こなし）部屋として、米や麦の脱穀・精白作業に使用していたとのこと。また、小屋裏の空間では、敷地内に桑の木があったことや、かつて尾張・美濃地域が養蚕地帯であったことから、養蚕を営んでいたと推測される。</p> <p>一時期は農作業小屋だったというが、元は座敷のある離れだったと考えられる。たちの低い厨子2階建ての外観が、中小田井町並み保存地区と一体となって、その歴史的な景観に奥行きを与えている。</p> <p>中小田井は、旧岩倉街道沿いの町家を主屋に、裏の大きな敷地に離れや土蔵を持つ商家が多く立ち並んでおり、そういった離れの一つであったと考えられるこの建物は、中小田井の敷地の使い方の特徴をよく示している。</p> <p>近年、建物が持つ魅力を引き出すように改修され、まちづくり団体の活動拠点として活用されている。</p>		